

名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2025年3月30日

学部・学科名 世界教養学科

担当教員氏名 ヴァミューレン服部美香

1. 区分	語学研修
2. プログラム名称	世界教養学科 春期シドニー研修
3. 渡航先国名	オーストラリア
4. 派遣期間	2025年2月14日(金)～2025年3月19日(水) 34日間
5. 派遣先教育機関名	マッコーリー大学
6. 参加学生数	13名
7. 派遣目的	授業で英語を学ぶとともに、ホームステイプログラムなどで多文化に触れる。英語文化圏で生活をする。
8. 派遣内容	様々な国・地域の学生とともに、習熟度別編成クラスで英語の4技能を伸ばし、社会学の特別講義(英語)を受講する。3週間にわたり学部の授業を聴講する機会(The Human Story, Australian Politics in a Global Context, Introducing Social Science など19クラス)もある。さらに、マッコーリー大学の学生と交流するセッションも用意されている。
9. 成果	研修中は多様な文化背景を持つ家庭にホームステイをし、プログラムに取り組んだ。 語学学習の絶好の機会となったことはもちろん、様々な経験を通して、視野を広がるきっかけになったようである。今後の学習・学生生活を有意義なものにする内容に溢れた研修となったことは帰国後のアンケート・レポートにもあらわれている。90%以上の参加者がオーストラリアは自分にとって大切な国となり、また訪れたいと回答している。
10. 備考	

以上

世界教養学科 春期シドニー研修に参加して

23051013 大野紗依 (2024 年度参加)

今回のシドニー研修を通じて、多くの貴重な経験を得ることができました。初めての海外生活であったため、さまざまな困難に直面しましたが、その過程で学んだことや自己成長を感じた部分は数多くありました。研修を通して特に「失敗を恐れずに行動する力」と「物事を様々な視点から捉える力」を身につけることができたと感じています。

まず、シドニーでの生活は、自分自身の行動力を試される場面が数多くありました。最初は英語がうまく伝わらず、コミュニケーションがスムーズにいかないことも多々ありましたが、失敗を恐れずに何度も挑戦することで徐々に改善されていきました。特にホストファミリーとのコミュニケーションが大きな学びの場となり、日常的に英語で会話することで語学力が自然と向上したと考えています。ホストファミリーは、毎日の夕食時に「今日は何を勉強したの？」や「今日はどこへ行ってきたの？」と質問してくれたため、その日学んだことや体験を英語で説明する機会が多くありました。これにより、自分の考えを英語で表現する力が磨かれました。また、失敗したり、聞き取れなかったりすることがあっても、彼らが根気よく説明してくれたおかげで、失敗を恐れずにチャレンジし続けることができるようになりました。そのおかげで街で買い物をする際にもできるだけ店員と会話しようと思い、オンラインで注文できるものでもカウンターで注文するなどしてチャレンジする機会を増やすちょっとした工夫をしました。

次に、この研修を通じて「物事を様々な視点から捉える力」が身についたと感じています。私のホストファミリーはベトナム系の家庭で、ルームメイトは中国から来ている学生でした。この異なる文化の背景を持つ人々と一緒に生活することで、さまざまな価値観や習慣について学ぶ機会がありました。特に食事や日常の会話を通して、お互いの国の文化や食習慣、慣習、考え方について話し合うことで、多文化に対する理解が深まりました。日本では汚いとされる行為も他国では反対の意味になることや、私が常識だと思っていたものが実は違っていたと常識を覆される経験ができました。ベトナム料理を食べながら、食文化や家庭生活について学ぶことができたのは貴重な体験でした。また、ルームメイトとは英語で会話していたため、日常的に英語を使いながら異文化について学び合うことができました。このような環境で生活する中で、文化の違いを尊重しながら、他者の視点に立って物事を考える重要性を強く感じました。

一番大きく変化した体験としては、基本的に一人で生活していかなければならないという環境に置かれたことだと思います。これまで日本での生活では、家族が近くにいてサポートを受けることができましたが、シドニーでは自分で全てを管理しなければなりません。日常生活を全て自分で計画し、実行する責任がありました。特に英語でのコミュニケーションにおいては、最初はホストファミリーのベトナム訛りの英語を聞き取るのが難

しかったこともあり、コミュニケーションに困難を感じることもありましたが、しかし、そのたびに聞き返し、理解できるまで質問をすることで、徐々に聞き取れるようになり、会話もスムーズに進むようになりました。また、ホストファミリーが提供してくれる食事の量が最初は多く、食べきれないこともありましたが、量を減らしてほしいということを伝え問題を解決しました。このことから自分の意見や希望をしっかりと伝えることが必要だと感じました。こうした経験を通じて、自己管理能力や問題解決力が向上したと感じています。

今後の目標としては、さらに多くの国を訪れ、現地での生活を通じてその国の文化や価値観を学びたいと考えています。シドニーでの経験を通じて、異文化に対する理解が深まり、他国で生活することの魅力を強く感じました。これからも積極的に海外に出向き、グローバルな視野を広げると同時に、言語や文化に対する知識を深めていきたいと考えています。今回の研修を通じて、私は単に語学力を向上させるだけでなく、異なる文化を尊重し、様々な視点から物事を考える力を養うことができました。この経験は、今後の人生やキャリアにおいて大きな財産になると確信しています。